

## I. 原著 (和文)

1. 今井富裕、津田笑子、山内理香、保月隆良、下濱 俊.  
平山病の病期診断における正中神経の F 波所見の有用性  
臨床神経生理 2010;38(4):165-171.  
トル
2. 今井 富裕、保月 隆良、津田 笑子、山内 理香、下濱 俊.  
重症筋無力症の咬合力評価における感圧測定シートの有用性.  
臨床神経生理 2010;38(6): 399-405.  
トル
3. 齊藤正樹、米増保之、高橋 明、吉田英人、大森義範、岡田 靖、矢坂正弘、下濱 俊、  
山本和利、寶金清博.  
医学生と地域への脳卒中教育における stroke team のリーダーシップ.  
脳卒中 2010;32(6):684-688,
4. 齊藤 正樹、米増 保之、山本 和利、姉川 敬裕、崎間 邦洋、高橋 明、矢坂 正弘、岡田 靖、  
下濱 俊、寶金 清博、札幌医科大学 OSCE 実施委員会.  
Stroke team による医学部卒前教育としての NIHSS と t-PA 教育—脳卒中講習会の実施が医学生に与えたもの— (脳卒中の地域住民への啓発活動 われわれの方法) .  
脳卒中 2010; 32(6):689-693
5. 松村晃寛、今井富裕、齊藤正樹、久原 真、下濱 俊.  
原因不明のまま治療開始した頭蓋底病変の予後～多発性脳神経障害を呈した感染症を中心に～.  
臨床神経 2013; 53(1): 9-18.
6. 外山祐一郎、湧川佳幸、矢坂正弘、安森弘太郎、齊藤正樹、下濱 俊、岡田 靖.  
Magnetic resonance angiography 上の中大脳動脈信号低下の有無と脳血流シンチグラム所見との関連性の検討.  
脳卒中 2016;38(5):307-312.

## II. 総説(和文)

1. 下濱 俊、谷口隆之、藤原元始、亀山正邦.  
ヒト脳のニコチン性アセチルコリン受容体.

自律神経 1985;22:398-401.

2. 中村重信、下濱 俊、谷口隆之.  
ヒト脳におけるニコチン性受容体.  
臨床薬理 1985;16:339-342.
3. 下濱 俊、亀山正邦.  
老年痴呆と Receptors.  
臨床神経 1986; 26:1294-1297.
4. 下濱 俊、亀山正邦、谷口隆之、藤原元始.  
ヒト脳の $\beta$ アドレナリン受容体サブタイプの性質および Alzheimer 型痴呆での変化.  
Dementia Japan 1987;1:58-64.
5. 下濱 俊、斎藤綱男.  
アルツハイマー病の分子生物学.  
実験医学 1989;7:100-106.
6. 下濱 俊、谷口隆之、藤原元始、亀山正邦.  
老人脳のコレシストキニン受容体.  
自律神経 1988;25:535-538.
7. 下濱 俊.  
アルツハイマー病とレセプター. (特集：脳疾患とレセプター)  
Dementia Japan 1989;3: 41-50.
8. 下濱 俊.  
プロテインキナーゼCとアルツハイマー病. (特集：脳の老化とプロテアーゼ)  
Dementia Japan 1991;5:253-261.
9. 下濱 俊.  
レセプターの障害を中心に. (特集：痴呆性疾患の分子生物学)  
最新医学 1992;47:602-610.
10. 下濱 俊.  
アルツハイマー病脳の NMDA 受容体. (特集：アルツハイマー病)

代謝 1992;29:9-17.

11. 下濱 俊.  
老年期痴呆の情動障害. (特集: 情動障害の薬理学)  
神経精神薬理 1992;14:265-274.
12. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の分子生物学.  
医学のあゆみ 1993;164:130.
13. 下濱 俊.  
アルツハイマー病と NMDA レセプターアンタゴニスト. (特集 老年期痴呆の成因と治療)  
Dementia Japan 1993;7:54-59.
14. 下濱 俊.  
痴呆とレセプター. (特集: 老年期痴呆における最近の知見)  
老年期痴呆 1993;7:71-79.
15. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の分子生物学.  
作業療法ジャーナル 1994;28:1144-1146.
16. 下濱 俊.  
アルツハイマー型老年痴呆とイノシトールリン脂質代謝異常.  
老年期痴呆研究会誌 Vol 7;1994, pp21-23.
17. 松島秀行、下濱 俊.  
プロテインキナーゼC. (特集: アイソザイム)  
日本臨床 1995;53:226-230.
18. 川又 純、下濱 俊.  
アルツハイマー病と遺伝子突然変異. (特集: 痴呆発症の危険因子)  
老年精神医学雑誌 1995;9:1098-1104.
19. 下濱 俊.  
アルツハイマー病とイノシトールリン脂質代謝異常.

臨床薬理の進歩'96 (脳機能賦活の臨床病理) ;1996. pp25-31.

20. 下濱 俊.  
痴呆の基礎と臨床:アルツハイマー病成因をめぐって:Apo-E.  
日本老年医学会雑誌 1996;33:173-177.
21. 下濱 俊.  
Alzheimer 型痴呆の成因と病態;発症機構—細胞内情報伝達機構. Up Date アルツハイマー  
型痴呆を中心に—分子生物学から地域医療まで—.  
現代医療 1996;28:49-53.
22. 下濱 俊.  
分子生物学と脳. (特集:脳の知られざる世界)  
現代のエスプリ 1996;349:76-90.
23. 松島秀行、下濱 俊、木村 淳.  
アルツハイマー病とプレセニリン.  
最新医学 1996;51:2128-2138
24. 川又 純、下濱 俊、井村徹也、木村 淳.  
筋萎縮性側索硬化症と活性酸素除去機構.  
最新医学 1996;51:173-178.
25. 澤田秀幸、下濱 俊、木村 淳.  
中脳ドーパミンニューロン死と一酸化窒素.  
最新医学 1996;51:2409-2413.
26. 下濱 俊、川又 純、木村 淳.  
神経変性疾患の遺伝子診断.  
遺伝子診療 1996;1996:109-111.
27. 下濱 俊、木村 淳.  
プリオン病と狂牛病.  
最新医学 1996;51:2128-2138.
28. 井村徹也、下濱 俊、木村 淳.

虚血性神経細胞死とペナンブラ.  
最新医学 1997;52:427-430.

29. 木原武士、下濱 俊.  
アルツハイマー病は増えているか. (特集：アルツハイマー病を正しく理解する)  
臨床と研究 1997;74:2411-2416.
30. 澤田秀幸、下濱 俊.  
アポリポ蛋白 E と脳血管性痴呆. (特集：アポリポタンパク E と脳血管性痴呆)  
老年精神医学雑誌 1997;8:1040-1046.
31. 木原武士、下濱 俊、木村 淳.  
 $\beta$ -アミロイドタンパクの神経毒性とニコチンの保護効果.  
最新医学 1997;52:1968-1972.
32. 河崎洋志、下濱 俊、西田栄介.  
神経系と MAP キナーゼスーパーファミリー.  
最新医学 1997;52:2447-2451.
33. 長谷川浩史、下濱 俊、木村 淳.  
エンドセリンと神経系.  
最新医学 1998;53:311-315.
34. 漆谷 真、下濱 俊、木村 淳.  
グルタミン酸毒性と選択的運動ニューロン死.  
最新医学 1998;53:1117-1123.
35. 景山 卓、下濱 俊、木村 淳.  
神経系におけるトランスポーターの役割.  
最新医学 1998;53:2118-2122.
36. 下濱 俊.  
アルツハイマー病とホスフォリパーゼ C- $\delta$ 1 分子異常. (特集：老年痴呆の分子生物学)  
医学のあゆみ 1998;187:127.
37. 下濱 俊.

ALS の病因についての最近の知見.

日本 ALS 協会 近畿ブロック会報 1998;28:27-32.

38. 下濱 俊、井村徹也、漆谷 真、大江田知子、景山 卓.  
総論；神経系疾患の遺伝子学.  
最新医学社; 1998. pp147-164.
39. 下濱 俊、木原武士.  
ニコチン性受容体刺激によるアミロイド $\beta$ タンパク誘発神経細胞死の抑制.(特集：神経細胞死  
制御)  
別冊 医学のあゆみ. 1998. pp199-203.
40. 下濱 俊, 辻 輝之.  
アルツハイマー病成因解明のためのヒト脳組織蛋白質データベースの作製.  
臨床成人病 1998;28:1243-1245.
41. 下濱 俊、澤田秀幸、木原武士、漆谷 真.  
神経変性疾患における細胞死と酸化ストレス.  
臨床神経 1999;39:4-6.
42. 辻 輝行、下濱 俊.  
血管新生のバイオロジー.  
最新医学 1999;54:1129-1133.
43. 漆谷 真、下濱 俊.  
筋萎縮性側索硬化症の神経細胞死：選択的ニューロン死の機構.  
最新医学 1999;54(7):1673-1681.
44. 山本兼司、加藤伸郎、下濱 俊.  
中枢神経系における活動電位の逆行性伝播.  
最新医学 1999;54:1941-1946.
45. 本田和弘、澤田秀幸、下濱 俊.  
エストロゲンと神経保護作用.  
最新医学 1999;54:2714-2718.
46. 澤田 秀幸, 下濱 俊, 赤池 昭紀.

中脳培養神経細胞における estradiol の抗アポトーシス作用.

Progress in Medicine 1999;19: 2608-2613.

47. 景山 卓、中村 勝、下濱 俊、木村 淳、高倉喜信、橋田 充、内藤幹彦、鶴尾 隆.  
マウス継代脳血管内皮細胞(MBEC4)を用いた L-DOPA の脳血液関門輸送機構の解析—中性アミノ酸トランスポーターの関与について—.  
Progress in Medicine 1999;19: 579-583.
48. 下濱 俊、漆谷 真.  
NO ラジカルの二面性と選択的運動ニューロン死.  
臨床神経 1999;39:1244-1248.
49. 下濱 俊.  
アルツハイマー病におけるアポトーシス調節タンパク質の動態—加齢変化との比較.  
蛋白質 核酸 酵素 2000;45:532-536.
50. 河野隆一、下濱 俊、木村 淳.  
Parkinson 病と  $\alpha$ -synuclein.  
最新医学 2000;55:115-117.
51. 木原武士、下濱 俊.  
ニコチンとアルツハイマー病：アルツハイマー病のニューロン変性に対するニコチンの作用.  
自律神経 2000;37:383-387.
52. 澤田秀幸、下濱 俊.  
中脳培養神経細胞におけるエストラジオールの神経保護作用.  
自律神経 2000;37:244-250.
53. 下濱 俊.  
Gradenigo 症候群.  
Clinical Neuroscience 2000; 18:698.
54. 下濱 俊.  
NO ラジカルと神経細胞死.  
小児神経学の進歩 2000;29:89-102.

55. 下濱 俊.  
アポトーシスの分子機構と神経細胞死. (特集・神経疾患の分子医学)  
現代医療 2000;32:2245-2250.
56. 中溝知樹、漆谷 真、下濱 俊.  
運動ニューロン疾患とステロイドホルモン.  
最新医学 2000;55(7):1700-1704.
57. 辻 輝之、下濱 俊.  
アルツハイマー病のプロテオーム解析.  
遺伝子医学 2000;4:589-593.
58. 下濱 俊、辻 輝之.  
プロテオミクスを手法としたアルツハイマー病の病態解析.  
医学のあゆみ 2001;196:426-427.
59. 下濱 俊.  
イノシトールリン脂質代謝異常と Alzheimer 病.  
日本臨床 増刊 (3) 高脂血症 (下)、日本臨床社; 2001. pp818-822.
60. 景山 卓、下濱 俊.  
中枢神経内のトランスポーターの役割.  
医学のあゆみ 2001;199(3):195-198.
61. 辻 輝之、下濱 俊.  
プロテオームを利用した病態研究—アルツハイマー病—.  
分子心血管病 2001;2:567-576.
62. 下濱 俊.  
アルツハイマー病：アセチルコリン補充療法の将来. (特集：痴呆症の分子治療)  
Cognition and Dementia 2002;1:7-14.
63. 下濱 俊.  
ニコチン性受容体刺激による神経保護作用とその分子機構の解明. 研究テーマへのロック・ク  
ライミング (助成研究紹介) .  
喫煙科学 2002;17:(4) pp3-5.



64. 葛谷 聡、下濱 俊.  
Rasmussen 脳炎：グルタメイト受容体チャネロパチー. (特集：チャネロパチー)  
神経研究の進歩 2003;47:225-230.
65. 下濱 俊.  
アルツハイマー病におけるニコチン性アセチルコリン受容体の病態的意義.  
臨床精神薬理 2004;7:895-905.
66. 下濱 俊、北村佳久、谷口隆之.  
ミクログリアとアルツハイマー病. (特集1：アルツハイマー病研究の最前線と治療への挑  
戦)  
脳 21 2004;7:137-142.
67. 塩崎愛子、辻 輝之、下濱 俊.  
アルツハイマー病における脳蛋白質のプロテオーム解析. (特集：アルツハイマー病のプロテ  
オミクス研究)  
Cognition and Dementia 2004;3: 249-256.
68. 下濱 俊.  
ニコチン性アセチルコリン受容体を介したアルツハイマー病の新しい治療 Nicotinic APL  
(allosteric potentiating ligand)による神経保護作用とガランタミン.  
老年精神医学雑誌 2004;15:1077-1090.
69. 澤田秀幸、山川健太郎、下濱 俊、泉 安彦、赤池昭紀、北村佳久、谷口隆之.  
 $\alpha$ -synuclein 陽性封入体とドパミンニューロン死との関係.  
Progress in Medicine 2004; 24: 3041-3048.
70. 北村佳久、高田和幸、谷口隆之、下濱 俊.  
Nicotine Lecture アセチルコリンの情報伝達.  
Dementia & Nicotinic Acetylcholine Receptor Trends. メディカルレビュー社; 2005 ;1 :4-5.
71. 北村佳久、高田和幸、谷口隆之、下濱 俊.  
Nicotine Lecture ニコチン性受容体の情報伝達.  
Dementia & Nicotinic Acetylcholine Receptor Trends. メディカルレビュー社; 2005 ;2 : 4-5.
72. 北村佳久、高田和幸、谷口隆之、下濱 俊.

Nicotine Lecture ニコチン性受容体の高次構造.

Dementia & Nicotinic Acetylcholine Receptor Trends. メディカルレビュー社; 2005 ;3 :4-5.

73. 北村佳久、高田和幸、谷口隆之、下濱 俊.

Nicotine Lecture ニコチン性受容体と神経伝達.

Dementia & Nicotinic Acetylcholine Receptor Trends. メディカルレビュー社; 2005 ;4 :4-5.

74. 木原武士、下濱 俊.

Nicotine Lecture アルツハイマー病とアセチルコリン.

Dementia & Nicotinic Acetylcholine Receptor Trends. メディカルレビュー社; 2005 ;5 :4-5.

75. 木原武士、下濱 俊.

Nicotine Lecture アルツハイマー病とニコチン性アセチルコリン受容体.

Dementia & Nicotinic Acetylcholine Receptor Trends. メディカルレビュー社; 2005;6 :4-5.

76. 木原武士、下濱 俊.

Nicotine Lecture アルツハイマー病とニコチン性アセチルコリン受容体（剖検脳による検討）.

Dementia & Nicotinic Acetylcholine Receptor Trends. メディカルレビュー社; 2005;7:4-5.

77. 木原武士、下濱 俊.

Nicotine Lecture アルツハイマー病とニコチン性アセチルコリン受容体（生体での検討）.

Dementia & Nicotinic Acetylcholine Receptor Trends. メディカルレビュー社; 2005 ;8:4-5.

78. 谷口隆之、北村佳久、下濱 俊.

グリア細胞と脳疾患：アルツハイマー病. （特集：グリア細胞—その新しい展開）

Clinical Neuroscience 2005;23:203-205.

79. 澤田秀幸、下濱 俊.

Lewy 小体型痴呆の生化学. （特集 Lewy 小体 型痴呆）

Cognition & Dementia 2005;4:34-39.

80. 下濱 俊.

第7回痴呆を語る会 特別講演II アルツハイマー病におけるプロテオミクス研究.

Geriatric Medicine 2005; 43:685-694.

81. 下濱 俊.

アルツハイマー病脳におけるプロテオミクス解析.

Clinical Neuroscience 2005;23: 724-725.

82. 下濱 俊.  
アセチルコリンと神経細胞死-ニコチン性受容体を介する神経保護作用. (特集：神経保護・再生医療の最前線)  
医学のあゆみ. 2005 ;215 :773-778.
83. 下濱 俊.  
アセチルコリン系賦活療法. (特集：アルツハイマー病の治療)  
モダンフィジシャン 2005 ;25 :1087-1091.
84. 下濱 俊.  
パーキンソン病の病態と治療.  
Yakugaku Zasshi 2005;125(2):64-67.
85. 土谷大樹、北村佳久、下濱 俊、谷口隆之.  
ミクログリアによるアミロイド beta 貪食制御の解析.  
Yakugaku Zasshi 2005;125(2):108-110.
86. 千代沙織、北村佳久、高田和幸、下濱 俊、谷口隆之.  
アミロイド beta 分子種に対するミクログリアの応答反応.  
Yakugaku Zasshi 2005;125(2):111-113.
87. 高田和幸、北村佳久、下濱 俊、谷口隆之.  
アルツハイマー病増悪因子とミクログリアの機能.  
Yakugaku Zasshi 2005;125(2):114-117.
88. 位田雅俊、北村佳久、澤田秀幸、下濱 俊、谷口隆之.  
In vivo モデルにおけるプロテアソームとドパミン神経細胞死.  
Yakugaku Zasshi 2005;125(2):118-120.
89. 林 孝輔、位田雅俊、北村佳久、下濱 俊、谷口隆之.  
マウス ES 細胞由来神経様細胞移植における 6-OHDA 投与ラットの行動薬理学的解析.  
Yakugaku Zasshi 2005;125(2):121-123.
90. 下濱 俊.

私の処方 ふるえに対する薬物療法.  
モダンフィジシャン 2006;26:624.

91. 下濱 俊.  
診療の秘訣 レビー小体型認知症.  
モダンフィジシャン 2006;26:1204.
92. 下濱 俊.  
AchE-I の神経保護作用と臨床の Linkage. (特集 アルツハイマー型痴呆の実地診療をめぐる課題)  
老年精神医学雑誌 2006;16 :88-94.
93. 下濱 俊.  
アルツハイマー病とニコチン性受容体. (講演紹介 CNS フォーラム 2005 分科会 3 : 認知症の病因を探るー最新の知見から)  
臨床精神薬理 2006;9:1030-1041.
94. 松村晃寛, 山内理香, 下濱 俊.  
認知症の鑑別診断-AD,VaD,DLB,FTLD-.  
治療 2007;89: 2972-2978.
95. 下濱 俊.  
パーキンソン症候群の臨床.  
日本老年医学会雑誌 2007;44: 564-567.
96. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の臨床症候と自然経過、予後.  
Medicina 2007;44: 1071-1073.
97. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の基礎 アルツハイマー病とアセチルコリン.  
Clinical Neuroscience 2007; 25:155-157.
98. 林 貴士、久原 真、下濱 俊.  
コリンエステラーゼ阻害薬、memantine. (今日のアルツハイマー病研究王手が掛かった根治薬)  
カレントセラピー2008;26:354-359.

99. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の新しい治療法の開発 新規医薬品 コリン作動薬. (アルツハイマー病  
基礎研究から予防・治療の新しいパラダイム 臨床編)  
日本臨床 2008;66 巻(1):517-521.
100. 下濱 俊.  
かかりつけ医が認知症を診るとき. (特集：我が国における認知症高齢者の実態)  
週刊 日本医事新報 2008;4410:60-62.
101. 下濱 俊.  
認知症の薬物療法. (生涯教育シリーズ 認知症)  
北海道医報 2008;1079: 28-30.
102. 下濱 俊.  
認知症のプロテオーム解析. (認知症のゲノミクス)  
Cognition and Dementia 2008;7: 237-242.
103. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の治療 現状と解決すべき諸問題. (アルツハイマー病の基礎理論と臨床  
現状と課題)  
日本薬理誌 2008;131(5):351-356.
104. 下濱 俊.  
Alzheimer 型認知症 最近の進歩.  
日本内科学会雑誌 2009;98:2305-2311.
105. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の薬物療法-Update ニコチン性受容体を介する神経保護作用. (老年精神医  
学の臨床最前線)  
老年精神医学雑誌 2009;20(3):56-60.
106. 下濱 俊  
中高年に急増する病気部位別徹底ガイド 頭部編 認知症  
医療と介護ナビ 2009;冬・春号：5-7.
107. 下濱 俊.  
開発中の AD 治療薬 AChE 阻害薬と NMDA 受容体拮抗薬. (アルツハイマー病(AD)への

新たな挑戦 AD 治療薬登場後の 10 年と今後)

Progress in Medicine 2010;30: 2133-2136.

108. 下濱 俊.  
Alzheimer 病 病因・病態 Alzheimer 病におけるニコチン性受容体の病態的意義. (認知症診療マニュアル)  
神経内科 2010;72:Suppl.6:258-262.
109. 下濱 俊.  
認知症の治療 この 10 年とこれから認知症治療薬の新たな作用と今後の治療. (アルツハイマー型認知症 この 10 年とこれから)  
老年精神医学雑誌 2010;21(1) :130-135.
110. 韓 萌、大西浩文、野中道夫、山内理香、保月隆良、林 貴士、齊藤正樹、久原 真、今井富裕、矢澤省吾、坂内文男、下濱 俊、千葉 進、森 満.  
パーキンソン病患者の QOL に対する抑うつの影響.  
北海道公衆衛生学雑誌 2010;23:96-102.
111. 韓 萌、大西浩文、野中道夫、山内理香、保月隆良、林 貴士、齊藤正樹、久原 真、今井富裕、下濱 俊、森 満.  
パーキンソン病患者の抑うつ症状と嚥下障害との関連.  
総合リハビリテーション 2010;38:677- 683.
112. 下濱 俊.  
ニコチン受容体. (認知症の克服に向けた創薬標的分子)  
脳 21 2010;13:75-80.
113. 下濱 俊.  
アルツハイマー病とニコチン性アセチルコリン受容体.  
老年期認知症研究会誌 2010; 17:82-84.
114. 下濱 俊.  
アルツハイマー病とニコチン性アセチルコリン受容体.  
老年期認知症研究会誌 2010; 17:19-21.
115. 下濱 俊  
認知症と脳卒中の克服を目指して (札幌医科大学大学院医学研究科先端医学公開講座)

Best Nurse 2010;3 月:52-54

116. 下濱 俊.  
ガラントミン. (保険収載されている抗認知症薬)  
日本臨床 2011;69 増刊号 10(認知症学 下-その解明と治療の最新知見-):31-35.
117. 下濱 俊.  
ガラントミンの基礎と臨床 a.基礎. (認知症薬物療法の新しい展開)  
精神科 2011;19(3):218-226.
118. 松下 隆司、下濱 俊.  
Meynert 基底核とアセチルコリン神経伝達.  
日本臨床 2011;69 増刊号 8, 認知症学(上)その解明と治療の最新知見:210-213.
119. 下濱 俊.  
新しい抗アルツハイマー病薬(ガラントミン、リバスチグミン、メマンチン). (アルツハイマー病)  
最新医学 2011; 9 月増刊号 66 :2213-2223.
120. 下濱 俊.  
Alzheimer 型認知症. ( I . 認知症の概念・病態). (特集：認知症:診断と治療の進歩)  
日本内科学会雑誌 2011;100(8);2092-2098.
121. 下濱 俊.  
新しいアルツハイマー型認知症治療薬の使い分け(Q&A).  
日本医事新報 2011; 4559:56-58.
122. 下濱 俊.  
メマンチン. ー新しい認知症治療薬への期待 併用、切り替え、位置づけなどー(特集：軽度～中等度認知症医療における問題点と課題)  
Progress in Medicine 2011; 31(8):1891-1897.
123. 下濱 俊.  
認知症治療薬の増量・変更あるいは併用の有用性は?. ー臨床に役立つ Q&Aー (特集：認知症治療の最前線)  
Geriatric Medicine2011; 49:809-812.

124. 下濱 俊.  
アルツハイマー病治療薬 ガランタミンを中心に. (特集：実地医家が診るアルツハイマー病)  
実験治療 2011;702:81-88.
125. 下濱 俊.  
ニコチン性受容体を介するミクログリアの  $A\beta$  貪食 ガランタミンの APL 作用による促進.  
(長期ニコチン受容体刺激により誘発される生体機構変化)  
医学のあゆみ 2011; 237(11):1047-1052.
126. 下濱 俊.  
ガランタミンの薬理作用—APL 作用と神経保護効果—. (薬理・薬物動態について)  
老年精神医学雑誌 2011;22 巻増刊 II:25-32.
127. 保月 隆良、今井富裕、下濱 俊.  
脳有鉤囊虫症. (寄生虫と神経系)  
神経内科 2012;77(3): 251-258.
128. 下濱 俊.  
抗認知症薬. (副作用概論 薬効群別副作用)  
日本臨床 2012;70 増刊号 6 医薬品副作用学-薬剤の安全使用アップデート -:291-296.
129. 下濱 俊.  
認知症治療の新たな展開.  
日本薬剤師会雑誌 2012;64:1459-1462.
130. 下濱 俊.  
高齢者の神経伝達機能を考慮したアセチルコリン系薬物による治療. (特集：高齢者と脳内神経伝達機能)  
老年精神医学雑誌 2012;23(8):952-958.
131. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の薬物治療 現状と今後の展望.  
老年期認知症研究会誌 2012;19: 87-88.
132. 下濱 俊.  
認知症の概念・病態. (認知症の診断と治療～新たなステージへ～)



医薬ジャーナル 2012;48:1955-1965.

133. 下濱 俊.  
ミクログリアのニコチン受容体. (コリン作動性ネットワーク)  
Clinical Neuroscience 2012;30(6):666-668.
134. 下濱 俊.  
新規認知症治療薬の特性. (特集：シンポジウム：新時代の認知症診療 )  
神経治療学 2012;29(2): 183-187.
135. 下濱 俊.  
ガラントミンの基礎と特徴-抗認知症 4 薬剤を知る-. (アルツハイマー型認知症治療薬の新時代)  
Medicinal 2012; 2(5):25-34.
136. 下濱 俊.  
アルツハイマー病. (特集：今、認知症にどう向き合うか)  
内科 2012;109(5):777-782.
137. 下濱 俊.  
認知症の診断と治療.  
日本臨床内科医会会誌 2012;26:595-599.
138. 高田和幸、下濱 俊、北村佳久.  
アミロイド  $\beta$  の代謝とアルツハイマー病. (種々の代謝異常)  
内分泌・糖尿病・代謝内科 2012;34:204-209.
139. 松下隆司、下濱 俊.  
内科的原因による意識障害(低血糖,CO<sub>2</sub>ナルコーシス)および中毒. (神経内科エマージェンシー 日常臨床でどこまで対応できるか-どのような治療を行うか実践的アプローチ)  
Medicina 2012; 49(4):684-686.
140. 下濱 俊.  
米国 NIA のアルツハイマー診断基準改定の概要.  
日本医事新報 2012;4591: 56-57.

141. 下濱 俊.  
コリンエステラーゼ阻害薬とメマンチン：対症療法薬の使い方.（アルツハイマー病-先制医療に向けての展開）  
カレントセラピー 2012;30(4):351-356.
142. 下濱 俊.  
Galantamine の基礎薬理.（新規抗認知症薬 galantamine の薬理と臨床）  
臨床精神薬理 2012;15:329-335.
143. 下濱 俊.  
メマンチン.（特集：作用メカニズム徹底比較! ドネペジルとの類似点・相違点は?）  
薬局 2012;63(2):235-239.
144. 下濱 俊.  
本年の動向 認知症治療薬の新たな展開.  
Annual Review 神経 2012;2012:75-84.
145. 下濱 俊.  
作用機序からみた memantine のアルツハイマー型認知症治療の意義.（特集：Memantine のすべて）  
臨床精神薬理 2012;15:27-33.
146. 下濱 俊.  
コリン仮説に基づく AD 治療法開発の現状と展望.（病態仮説に基づくアルツハイマー病治療法開発の現状と展望）  
臨床神経 2013;53:1036-1038.
147. 下濱 俊.  
認知症と自律神経障害.  
自律神経 2013;50:267-269.
148. 下濱 俊.  
アルツハイマー型認知症の症状改善薬の併用について.（特集：認知症に対する薬物療法の課題）  
精神科治療学 2013;28(12):1565-1570.

149. 下濱 俊.  
認知機能障害(軽度認知障害)―物忘れが目立ってきた―. (神経・精神症候からのアプローチ  
主要神経・精神症候と鑑別診断)  
日本医師会雑誌 2013; 142 増刊号 2 神経・精神疾患診療マニュアル: S81-S83.
150. 下濱 俊.  
PET による認知症の診断.  
PET Journal 2013; 22:7-9.
151. 下濱 俊.  
アルツハイマー型認知症治療の現状と将来への展望.  
北海道医学雑誌 2013;88:59-61.
152. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の治療、介護の現在アルツハイマー病治療薬の基礎. (アルツハイマー病の  
最新知識 PART.5)  
からだの科学 2013;278:106-109.
153. 下濱 俊.  
アルツハイマー病におけるシナプス変性、脱落メカニズムの分子基盤. (認知症・うつ病とシ  
ナプス異常)  
Dementia Japan 2013; 27(2):136-150.
154. 下濱 俊.  
抗認知症薬の使い方. (神経内科のトピックス)  
Modern Physician 2013; 3(5):679-682.
155. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の新たな診断基準.  
日本老年医学会雑誌 2013;50(1):1-8.
156. 下濱 俊.  
ガランタミン. (最新薬物療法)  
最新精神医学 2013;18(1):49-55.
157. 下濱 俊.

アルツハイマー型認知症治療の現状と将来への展望.  
北海道医報 2013;1132:47-51.

158. 山本大輔、今井富裕、下濱 俊.  
遠隔神経症候からみた悪性腫瘍 筋無力症状 Lambert-Eaton 筋無力症候群. (こんな神経症状から始まる悪性腫瘍-傍腫瘍症候群の実態-)  
成人病と生活習慣病 2014;44(4):422-427.
159. 外山 祐一郎、矢坂 正弘、齊藤 正樹、下濱 俊、岡田 靖.  
抗凝固療法と頭蓋内出血. (抗血栓療法と出血性合併症)  
脳と循環 2014;19(2) 129-133
160. 外山祐一、岡田 俊、齊藤正、下濱 俊、矢坂正弘.  
脳卒中急性期の内科治療 A.急性期の抗血小板療法, 抗凝固療法 2. IST, CAST.  
Clinical Neuroscience 2014; 32 :1093-1095.
161. 松村晃寛、下濱 俊.  
中枢神経系真菌感染症の治療動向.  
神経治療 2014;31(1):18-25.
162. 下濱 俊.  
認知症発症のメカニズム ―認知症は完治できるのか?―. (特集: 認知症を考える～アルツハイマー病、血管性認知症について)  
実験治療 2014;712:45-55.
163. 外山祐一郎、矢坂正弘、齊藤正樹、下濱 俊、岡田 靖.  
心房細動に対するワルファリンと新規抗凝固薬. 脳梗塞・脳出血の発症リスクは異なるのか?  
(特集: 抗血栓療法のリスクベネフィット)  
血栓と循環 2014;22(2):325-329.
164. 山本 大輔、今井 富裕、下濱 俊.  
遠隔神経症候からみた悪性腫瘍 筋無力症状 Lambert-Eaton 筋無力症候群. (こんな神経症状から始まる悪性腫瘍-傍腫瘍症候群の実態)  
成人病と生活習慣病 2014;44(4): 422-427.
165. 下濱 俊、本井 ゆみ子、緒方 昭彦、石田 義則、堀 宏治.  
新規コリンエステラーゼ阻害薬は何をもたらしたのか. (アルツハイマー病治療最前線)

新薬と臨牀 2014;63(7):1215-1223.

166. 倉内麗徳、矢坂正弘、齊藤正樹、下濱 俊、岡田 靖.  
心原性脳塞栓症の予防 新規経口抗凝固薬 (NOAC). (脳卒中の予防と治療-最近の話題)  
脳 21 2015;18:165-171.
167. 下濱 俊.  
ガラントミンー認知症治療薬の特徴と使い方. (特集: まるごと解説! 認知症の薬物療法)  
薬事 2015;57(11):1801-1805.
168. 下濱 俊.  
認知症の早期発見と予防. (特集2 高齢社会の食と医療ー心身の健康のためにー)  
学術の動向 2015;20: 76-80
169. 大畑雅宏、齊藤正樹、中村英保、米地宏樹、鎌田恒樹、入間 朗、小林茂樹、小澤敏博、  
下濱 俊.  
介護福祉従事者が教育スタッフとなって実施する Act-F.A.S.T.救急講習会.  
全国自治体病院協議会雑誌 2015;54:961-965.
170. 下濱 俊.  
皮質性認知症の現代的捉え方. (特集: 大脳皮質 vs. 大脳白質)  
BRAIN and NERVE 2015;67(4):389-402.
171. 下濱 俊.  
序文. (特集: 認知症の診断と治療 update)  
医学と薬学 2015;72(7):1151.
172. 松村晃寛、川又 純、下濱 俊.  
脳科学辞典 軽度認知障害.  
2016; doi: 10.14931/bsd.6846
173. 松下隆司、下濱 俊.  
アセチルコリンエステラーゼ阻害薬によるアルツハイマー病の治療.  
医学のあゆみ 2016; 257:423-428.
174. 外山祐一郎、矢坂正、齊藤正樹下濱 、岡田 靖.

Constructive Debate 第 Xa 因子阻害薬の経管投与一積極的に行う立場から.  
Cardio-Coagulation 2016; 3:46-49.

175. 藤倉 舞、下濱 俊.  
薬剤による認知障害誘発のメカニズムと影響因子. (薬剤誘発性認知症)  
医薬ジャーナル 2016;52:2469-2473.
176. 野中隆行、矢坂正弘、齊藤正樹、下濱 俊、岡田 靖.  
来院時頭部 CT 皮質下出血の原因は?.(似たものの画像、あいまい画像を一刀両断! 画像診断道場 実はこうだった 第 28 回)  
日本医事新報 2016;4824:5-6.
177. 松下隆司、下濱 俊.  
アセチルコリン賦活薬とメマンチンの使い分け. (アルツハイマー病と新オレンジプラン治療)  
Clinical Neuroscience 2016; 34:1028-1030.
178. 下濱 俊.  
認知症診療の現状と展望. (高齢社会における認知症の課題と展望)  
Geriatric Medicine 2016; 54:427-430.
179. 松下隆司、下濱 俊.  
治療を中心に Alzheimer 病治療薬の使い分け. (認知症 Alzheimer 病 update)  
最新医学 2016;71 (3 月増刊号) :644-649.
180. 松下隆司、下濱 俊.  
アセチルコリンエステラーゼ阻害薬によるアルツハイマー病の治療.  
医学のあゆみ 2016;257(5):423-428.
181. 松下隆司、下濱 俊.  
メマンチンの使用法(現状ではどのように使用するべきか).(特集:アルツハイマー病に対する治療薬の現状と展望-進行予防から根治治療へ)  
認知症の最新医療 2017;7(4):195-199.
182. 下濱 俊.  
アルツハイマー病の治療.(老年医学の診断と治療はここまで進んだ 第 2 部)

難病と在宅ケア 2017;23:30-33.

183. 松村晃寛、川又純、下濱 俊.  
脳科学辞典 認知症. 2018; doi: 10.14931/bsd.6838.  
<https://bsd.neuroinf.jp/wiki/%E8%AA%8D%E7%9F%A5%E7%97%87>
184. 松村晃寛、下濱 俊.  
認知症治療の展望 ミクログリアをターゲットとした治療法の開発.  
神経治療学 2018;35:344-347.
185. 鈴木秀一郎、蒲生直希、下濱 俊.  
高齢者の臓器別疾患. (神経疾患 パーキンソン病.)  
日本臨床 2018;76(7)老年医学(下)-基礎・臨床研究の最新動向-:512-517.
186. 下濱 俊.  
コリンエステラーゼ阻害薬 ―認知機能障害に対する薬物治療―. (認知症トータルケア)  
日本医師会雑誌 2018;147 特別号 2 :S218-S219.
187. 下濱 俊.  
私の診療経験から アルツハイマー型認知症治療の現状と展望.  
臨牀と研究 2018;95: 697-702.
188. 鈴木秀一郎、下濱 俊.  
Tolosa-Hunt 症候群. (神経疾患治療ノート)  
Clinical Neuroscience 2018; 36:860-862.
189. 齊藤正樹、神 倫聡、高野智史、三瀬敬治、鈴木 究、田原勇人、柴田 亨、橋本 諭、  
一宮慎吾、下濱 俊、中村眞理子、高橋弘毅.  
地域医療体験事業での教育手法の工夫. (地域医療を支える人づくりプロジェクト事業)  
医療人育成センター紀要 2018;9:9-14.
190. 藤倉 舞、下濱 俊.  
ガラントミンの適応と留意点. (薬物治療の進歩)  
日本臨床 2018;76(1):69-74.
191. 下濱 俊.  
脳神経内科疾患研究の歩み

札幌医科大学札幌医学雑誌 2018; 87 (1-6):9-23

192. 平野理都子, 野中隆行, 林 貴士, 松谷 学, 下濱 俊.  
浮腫と下肢痛で初診した肺癌に伴う肺性肥大性骨関節症. (眼で見る神経内科)  
神経内科 2018;88:669-671.
193. 下濱 俊.  
北海道における脳神経内科診療の現状と課題.  
北海道医報 2019.2.1 :14-15
194. 下濱 俊.  
抗認知症薬. (薬効群別副作用)  
日本臨床 2019;77(医薬品副作用学(第3版)上-薬剤の安全使用アップデート-):330-336
195. 松村 晃寛、下濱 俊.  
ミクログリアをターゲットとした認知症治療法の開発. (特集：認知症-治療の展望)  
脳神経内科 2019;91(4) 479-484
196. 松村晃寛、下濱 俊.  
認知症性疾患 (各論：主な神経疾患の嚥下障害の臨床) .  
CIINIAL NEUROSCIENCE 2019;37(5) 41-543
197. 大橋 一慶、矢坂 正弘、下濱 俊、岡田 靖.  
DOAC 中和薬. (心房細動の治療に関する最近の動向と展望-多様化する患者と治療のイノベーション)  
カレントセラピー 2019;37:(11): 1097-1103
198. 下濱 俊.  
アルツハイマー型認知症の治療・予防.  
老年期認知症研究会誌 2019;23(2): 7-10
199. 高田和幸、西村周泰、下濱 俊.  
アルツハイマー病治療薬開発としての  $\alpha 7$  ニコチン受容体サブタイプの機能. (特集2)  
日本精神薬学会誌 2019;3(1): 12-16
200. 下濱 俊.



認知症に関する最近の話題. (認知症診療と研究の進歩)

BIO Clinica 2020 ;35(4):304-305

201. 下濱 俊.

アルツハイマー型認知症治療の現状と展望.

国際抗老化再生医療学雑誌, 2020; 3: 1-11

202. 下濱 俊.

高齢者の特性に基づいた慢性疾患の管理 5) 高齢者の精神・神経疾患. (特集: 新しい老年病  
専門医制度について: 老年病専門医が持つべき能力とは)

老年内科 2020; 2(3):259-265

203. 下濱 俊.

Alzheimer 型認知症. (特集 認知症診療の新展開)

日本内科学会雑誌 2020;109(8):1511-1518

### Ⅲ. 著書 (和文)

1. 下濱 俊.

老年神経学. 痴呆とレセプター.

亀山正邦編. 東京: 南江堂; 1987:228-231.

2. 下濱 俊.

神経伝達物質 update. 知的機能と神経伝達物質.

中村重信編. 東京:中外医社;1991:75-78.

3. 下濱 俊. 変質する脳.

NHK 取材班編.驚 異の小宇宙・人体Ⅱ 脳と心 秘められた復元力 [発達と再生].

東京: 日本放送出版協会;1994:82-83.

4. 下濱 俊、柴崎 浩.

知能低下、痴呆.

井村裕夫、尾形悦郎、高久史磨、垂井清一郎編. 最新内科学大系 3. 東京:中山書店;1996:  
162-166.

5. 下濱 俊.  
筋萎縮性側索硬化症.  
中村重信編. 分子神経病学. 東京: 南江堂;1996;95-99.
6. 下濱 俊.  
神経伝達物質レセプターの異常.  
日高弘義、谷口隆之、宇井理生編. レセプター分子薬理学的アプローチ. 東京: 講談社サイエンティフィック社;1997:125-129.
7. 下濱 俊.  
老年者における痴呆.  
北 徹 監修, 村上元庸編. 老年学大辞典. 新潟: 西村書店; 1998: 238-244.
8. 木原武士、下濱 俊.  
抗痴呆薬: 脳代謝改善薬、脳循環改善薬とその作用機序.  
松下正明編. 臨床精神医学講座第 14 巻 精神科薬物療法. 東京: 中山書店; 1999:313-321.
9. 辻 輝之、下濱 俊.  
アルツハイマー病のプロテオーム解析.  
磯辺俊明、高橋信弘編. 実験医学別冊 ポストゲノム時代の実験講座 プロテオーム解析法.  
羊土社; 2000:249-253.
10. 下濱 俊.  
神経薬理学の基礎.  
江藤文夫、飯島 節編. 神経内科学テキスト. 南江堂; 2000:20-25.
11. 景山 卓、下濱 俊.  
疾患編: 神経・運動器疾患: 8 遺伝性疾患.  
井村裕夫編. わかりやすい内科学 第 2 版. 東京: 文光堂; 2002:640-644.
12. 大江田知子、下濱 俊.  
疾患編: 神経・運動器疾患: 9 代謝性疾患.  
井村裕夫編. わかりやすい内科学 第 2 版. 東京: 文光堂;2002:645-649.
13. 漆谷 真、下濱 俊.  
疾患編: 神経・運動器疾患: 10 運動ニューロン疾患.

井村裕夫編. わかりやすい内科学 第2版. 東京: 文光堂;2002:650-657.

14. 下濱 俊.  
ニコチン性作動薬等による痴呆の治療.  
山本光利編. パーキンソン病—痴呆の問題—. 東京: 中外医学社;2005:233-241.
15. 下濱 俊.  
神経薬理学の基礎.  
江藤文夫、飯島 節編. 神経内科学テキスト 改定第2版. 東京: 南江堂;2005:22-27.
16. 植村健吾、人見健文、下濱 俊.  
プリオン病（感染する認知症）.  
須貝佑一編. からだの科学 251. 日本評論社 2006:35-38.
17. 下濱 俊.  
進行期の治療 Q69「 Continuous dopaminergic stimulation でジスキネジアが予防できるかもしれないという話を聞いたことがあります. これは本当ですか? 飲み薬でこれを達成する方法はあるのでしょうか?」  
水野美邦編. パーキンソン病診療Q&A. 東京: 中外医学社 2009:213-215.
18. 久原 真、下濱 俊.  
糖原病.  
幕内雅敏、菅野健太郎、工藤正俊編. 今日の消化器疾患治療指針. 東京: 医学書院 2010:32.
19. 下濱 俊.  
自律神経障害（シャイ・ドレガー症候群を含む）.  
山口 徹, 北原光夫, 福井次矢総編. 今日の治療指針-私はこう治療している-. 東京: 医学書院 2011:818-819.
20. 下濱 俊.  
治療の実際（薬物療法） 1. Alzheimer 病（AD）の治療薬にコリンエステラーゼ阻害薬というものがあります. 作用機序やその効果についておしえてください。  
中島健二・和田健二編. 認知症診療Q&A 9 2. 東京: 中外医学社 2012: 182-184.
21. 鈴木秀一郎、下濱 俊.  
Parkinson 病、Parkinson 症候群.

日本老年医学会編. 老年医学系統講義テキスト. 東京：西村書店 2013: 267-270.

22. 松下降司、下濱 俊.  
副甲状腺機能低下.  
水澤英洋, 鈴木則宏, 梶 龍児, 神田 隆, 齊藤延人編. 今日の神経疾患治療指針 第2版. 医学書院 2013: 1023-1025.
23. 下濱 俊.  
抗認知症薬.  
寺本民生監修. 医師・薬剤師のための医薬品副作用ハンドブック. 大阪：日本臨床社 2013: 212-216.
24. 下濱 俊.  
中枢神経系疾患 7. アルツハイマー病.  
門脇 孝, 小室一成, 宮地良樹監修. 診療ガイドライン UP-TO-DATE 2014-2015. 大阪: メジカルレビュー社 2014: 503-511.
25. 松村晃寛、下濱 俊.  
認知機能のメカニズム.  
橋本信夫監修. 三國信啓, 深谷 親編. 脳神経外科プラクティス 3. 東京: 文光堂 2014: 98-101.
26. 松村晃寛、下濱 俊.  
認知機能障害患者の適切な対応.  
橋本信夫監修. 三國信啓, 深谷 親編. 脳神経外科プラクティス 3. 東京: 文光堂 2014: 115-119.
27. 下濱 俊.  
アルツハイマー病.  
山口 徹, 北原光夫監修. 福井次矢, 高木 誠, 小室一成総編. 今日の治療指針-私はいこう治療している-. 東京：医学書院 2015: 886-888.
28. 松村晃寛、下濱 俊.  
感染症 10 ムコール菌症.  
田村 晃, 松谷雅生, 清水輝夫, 辻 貞俊, 塩川芳昭, 成田善孝編. EBM に基づく脳神経疾患の基本治療指針. 東京: メジカルレビュー社 2016: 471-473.
29. 松村晃寛、下濱 俊.

感染症 6 真菌性髄膜炎.

田村 晃、松谷雅生、清水輝夫、辻 貞俊、塩川芳昭、成田善孝編. EBM に基づく脳神経疾患の基本治療指針. 東京:メジカルビュー社 2016: 458-460.

30. 下濱 俊.  
血管性うつ病.  
山口 徹、北原光夫監修. 今日の治療指針-私はこちら治療している-. 東京:医学書院 2016: 928-929.
31. 下濱 俊.  
神経薬理学の基礎. 江藤文夫、飯島 節編. 神経内科学テキスト 改定代版. 東京:南江堂 2017: 25-29.
32. 下濱 俊.  
喫煙と神経系 ミクログリアのニコチン受容体と神経変性疾患  
三須良實、久保千春、佐藤信紘、中尾一和、柳沢幸雄編集. 喫煙科学研究のあゆみー2006 年から2015 年ー: 公益財団法人 喫煙科学研究財団 2017:136-139.
33. 下濱 俊.  
レビュー小体型認知症.  
福井次夫、高木 誠、小室一成総編. 今日の治療指針-私はこちら治療している-. 東京:医学書院 2018: 928-929.
34. 横川和樹、下濱 俊.  
Alzheimer 病.  
水澤英洋、山口修平、園生雅弘編. 神経疾患最新の治療 2018-2020. 東京:南江堂 2018: 184-186.
35. 下濱 俊.  
認知症.  
水澤 英洋監修. 今日の疾患辞典デジタル版: Current Decision Support (CDS). 東京:プレシジョン. [https://www.cds.ai/docs/detail/d09557\\_indd](https://www.cds.ai/docs/detail/d09557_indd), 2020
36. 下濱 俊.  
軽度認知機能障害.  
水澤 英洋監修. 今日の疾患辞典デジタル版: Current Decision Support (CDS). 東京:プレシ

ジョン. [https://www.cds.ai/docs/detail/d09558\\_indd](https://www.cds.ai/docs/detail/d09558_indd)、2020

37. 下濱 俊.  
アルツハイマー病 (AD) .  
水澤 英洋監修. 今日の疾患辞典デジタル版: Current Decision Support (CDS) . 東京: プレシジョン. [https://www.cds.ai/docs/detail/d09559\\_indd](https://www.cds.ai/docs/detail/d09559_indd)、2020
38. 下濱 俊.  
アルツハイマー病.  
福井次矢、高木 誠、小室一成編. 今日の治療指針-私はこう治療している-. 東京: 医学書院  
2019: 947-949.